

平成21年度技術士第二次試験問題〔水産部門〕

選択科目【14-3】水産土木

1時30分～5時

I 次の2問題（I-1，I-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

I-1 我が国周辺水域における厳しい資源状況を踏まえ、漁場生産力向上の観点から、今後の漁場整備のあり方について取り組むべき課題を抽出し、その対応策について述べよ。
（問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

I-2 次の5設問のうち3設問を選んで解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて**解答設問番号**を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

I-2-1 軟弱地盤上に防波堤等の構造物を建設する際の技術的留意事項と、その対策について述べよ。

I-2-2 防波堤に藻場形成機能を付加した「藻場造成型防波堤」について複数の種類を示し、設計上の留意点を述べよ。

I-2-3 低炭素社会の実現に向け、水産土木分野における地球温暖化対策を列挙し、その現状と課題、今後のあり方について述べよ。

I-2-4 漁村地域活性化のための課題を列挙し、水産土木分野として取り組むべき方策と今後のあり方について述べよ。

I-2-5 水産基盤整備における事業評価手法について、現状の課題と今後のあり方について述べよ。